

主要行等の平成 23 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益が減少する中、債券売却益の大幅な増加により、前期に比べ 9.8%の増加。
- 当期純利益は、株式等関係損益が悪化したものの、実質業務純益の増加に加え、与信関係費用の大幅な減少により、前期に比べ 59.6%の増加。

(単位：億円)

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期	前期比
業務粗利益	61,426	62,998	65,251	2,253
資金利益	42,252	43,407	40,336	▲3,071
役務取引等利益	12,156	11,817	12,237	421
債券等関係損益	1,179	1,842	5,921	4,080
うち、債券等償却(▲)	▲2,173	▲424	▲274	150
経費(▲)	▲34,830	▲33,701	▲33,096	605
実質業務純益	26,596	29,297	32,155	2,858
与信関係費用(▲)	▲19,114	▲9,655	▲3,922	5,733
株式等関係損益	▲15,613	622	▲2,997	▲3,619
うち、株式等償却(▲)	▲15,146	▲1,659	▲3,499	▲1,840
当期純利益	▲16,069	11,594	18,504	6,910

(参考)

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期
貸出金(末残)	260.8 兆円	244.1 兆円	238.7 兆円

(注) 貸出金は銀行勘定計

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期から僅かながら減少、不良債権比率は低下。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期
不良債権額	4.8 兆円	5.0 兆円	4.9 兆円
不良債権比率	1.66%	1.86%	1.84%

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ上昇。

	21 年 3 月期	22 年 3 月期	23 年 3 月期
自己資本比率	12.42%	15.82%	17.33%

(注1) 記載金額・比率は、四捨五入して表示。

(注2) 計数は単体ベース。なお、一部の銀行において再生専門子会社及び株式保有専門子会社の計数を含む。